

# R7年度 第1回 景気動向調査報告書

## 1. 調査目的

本調査を毎年度内に2回に渡り実施することで同地区内における経済動向等に関する情報分析を行い、効果的な経営支援の実施並びに事業活動の方向性を検討する材料となるよう情報提供することを目的とする。

## 2. 調査の時期

調査対象期間：令和6年10月～令和7年3月

## 3. 調査対象企業及び回答状況

項目 業種	調査対象企業数	回答数	回答率 (%)
全業種	147	45	30.6
卸売・小売業	27	7	25.9
サービス業	91	17	18.7
製造業	6	4	66.7
建設業	23	17	73.9

## 4. 調査区分

商業関連 ①卸売・小売業 ②サービス業（不動産業・飲食店・宿泊業・その他）

工業関連 ①建設業 ②製造業

## 5. 調査事項

商業関連 ①売上高 ②採算（粗利） ③客数 ④客単価 ⑤経費

⑥資金繰り ⑦従業員数 ⑧金融機関の融資状況 ⑨今後の見通し（売上）

工業関連 ①売上高 ②採算（粗利） ③引き合い ④資金繰り ⑤従業員数

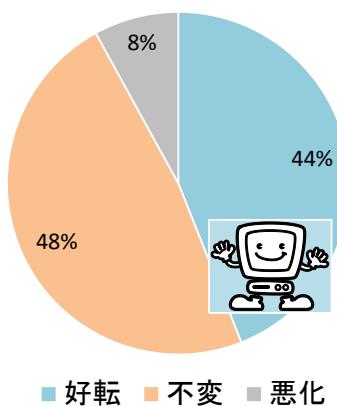
⑥在庫数量 ⑦受注・製品単価 ⑧設備投資 ⑨今後の見通し（売上）

## 6. 各調査項目の判断目安

特に好調	好調	まあまあ	不振	極めて不振
増加・好転 目安 50%以上～	増加・好転 目安 40%以上～	不变 目安 30%以上～	減少・悪化 目安 40%以上～	減少・悪化 目安 50%以上～

# 調査結果【商業関連】

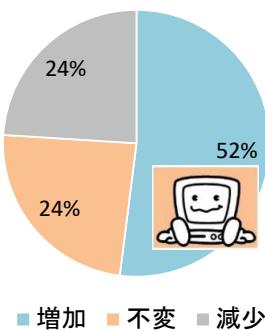
## 【今後の見通し（売上）】



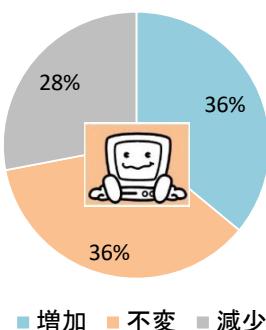
今後の売上見通しについては、「好転」44%、「不变」48%、「悪化」8%となり、多くの企業が現状維持または緩やかな回復を見込んでいる。売上の改善期待は一定程度みられるものの、採算（粗利）や客数の好転は36～40%にとどまり、依然として収益構造の厳しさがうかがえる。客単価の上昇を見込む企業は48%と高く、価格改定や高付加価値商品の展開など、単価向上の取組みが進展している。

一方、経費は64%の企業が「増加」と回答しており、エネルギー費・人件費の上昇が収益圧迫の要因となっている。資金繰りは「好転」12%に対し「悪化」8%、「不变」80%と大半が現状維持を見込むが、慎重な資金管理が求められる。従業員数は「不变」63%、「増加」33%で、人材確保に前向きな動きが続く。融資状況は「容易」28%、「不变」72%と金融環境は安定しており、総じて「好調」から「まあまあ」の水準と評

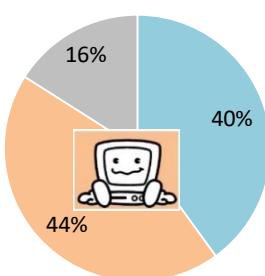
## 【売上高】



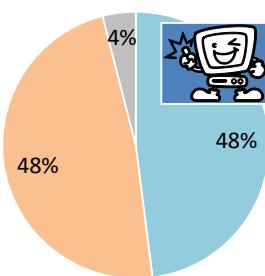
## 【採算（粗利）】



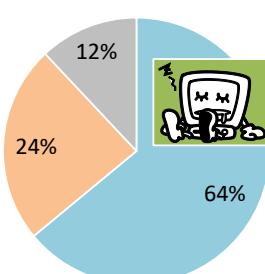
## 【客数】



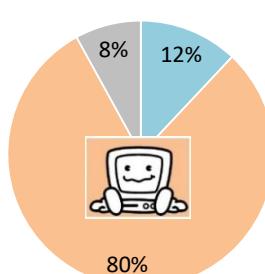
## 【客単価】



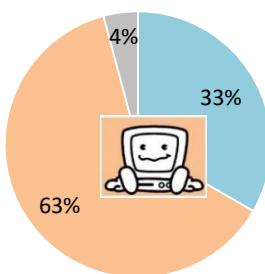
## 【経費】



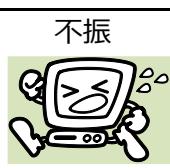
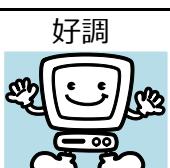
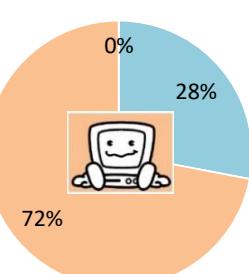
## 【資金繰り】



## 【従業員数】



## 【融資状況】



増加・好転  
目安 50%以上～

増加・好転  
目安 40%以上～

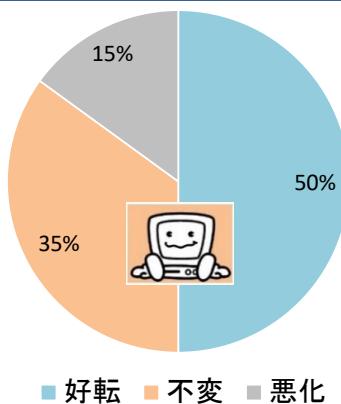
不变  
目安 30%以上～

減少・悪化  
目安 40%以上～

減少・悪化  
目安 50%以上～

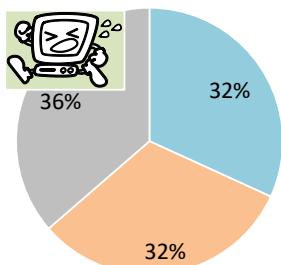
# 調査結果【工業関連】

## 【今後の見通し（売上）】

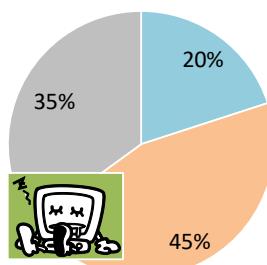


今後の売上見通しについては、「好転」50%、「不变」35%、「悪化」15%となり、半数の企業が回復基調を見込んでいる。売上増加を期待する動きが強まる一方で、採算（粗利）の好転は20%にとどまり、コスト上昇や価格競争の遅れが依然として課題となっている。引き合い動向も「増加」24%、「不变」28%、「減少」48%と受注環境の改善にはばらつきが見られる。資金繰りは「好転」13%、「不变」73%、「悪化」14%と安定的に推移しているが、利益率の低下により手元資金の余裕が限られる企業も少なくない。従業員数は「不变」54%、「増加」32%で、人材確保に前向きな姿勢がみられる。在庫（製品）については「不变」86%と大きな変化はなく、需給バランスはおおむね落ち着いている。受注単価の上昇を見込む企業は41%に上り、付加価値の向上が期待される。設備投資は「増加」18%、「不变」73%で、慎重姿勢ながらも成長に向けた投資意欲がうかがえる。

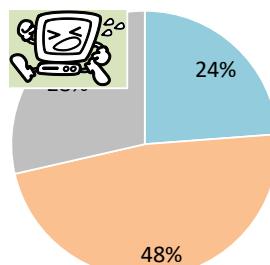
## 【売上高】



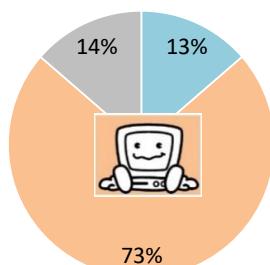
## 【採算（粗利）】



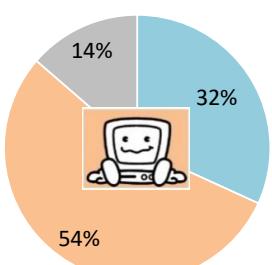
## 【引き合い】



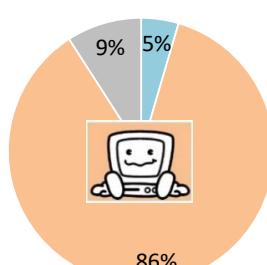
## 【資金繰り】



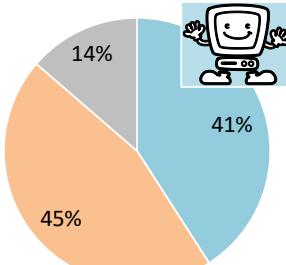
## 【従業員数】



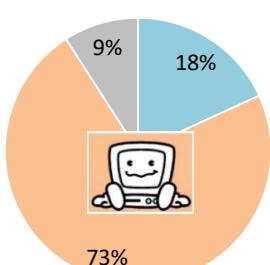
## 【在庫数（製品）】



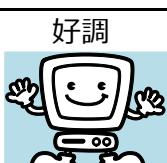
## 【受注・製品単価】



## 【設備投資】



特に好調  
増加・好転  
目安 50%以上～



好調  
増加・好転  
目安 40%以上～



まあまあ  
不变  
目安 30%以上～



不振  
減少・悪化  
目安 40%以上～



極めて不振  
減少・悪化  
目安 50%以上～

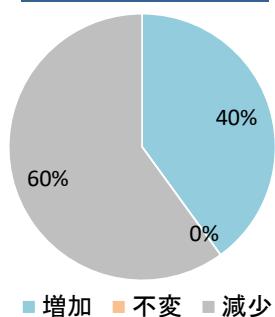
# 1. 主要3項目（売上高・採算・資金繰り）から見た業種別景気動向

## 【小売業】

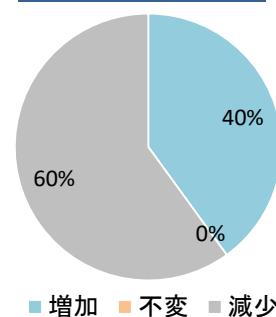
主な今期直面している経営上の問題

仕入価格上昇（21.4%）、従業員確保難（21.4%）等

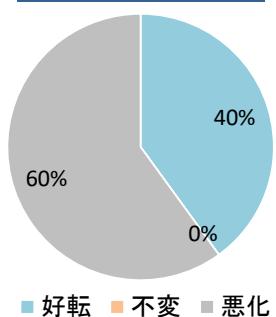
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

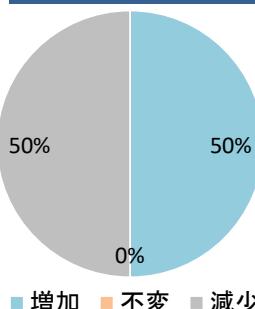


## 【卸売業】

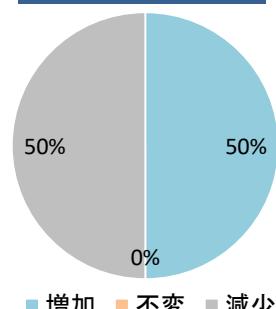
主な今期直面している経営上の問題

人件費増加（25.0%）、駐車場確保難（16.7%）、消費税引き上げ（16.7%）等

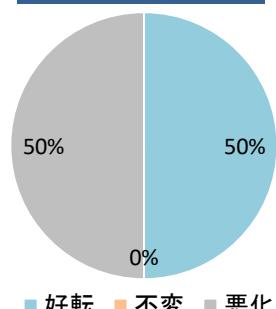
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

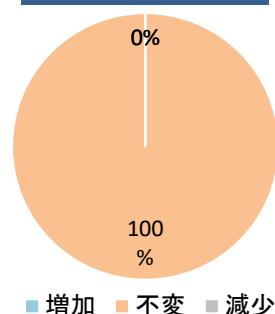


## 【不動産業】

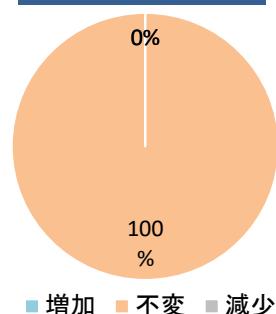
主な今期直面している経営上の問題

売上減小（30.0%）、従業員確保難（20.0%）等

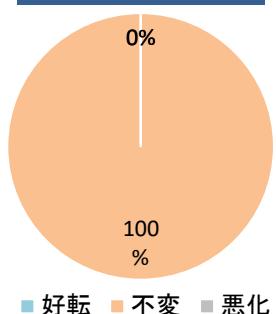
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】



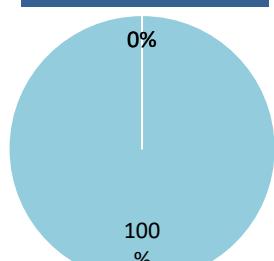
## 【飲食店】

主な今期直面している経営上の問題

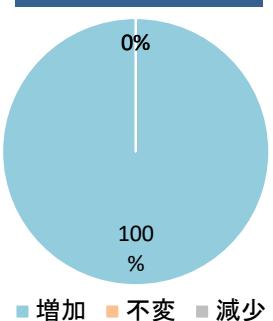
仕入価格上昇 (20.0%)、諸経費増加 (20.0%)、人件費増加 (20.0%)、

利益率低下 (20.0%) 等

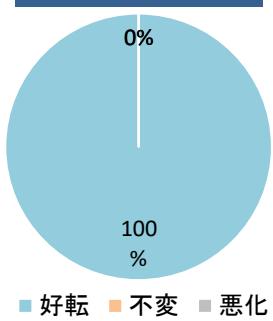
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

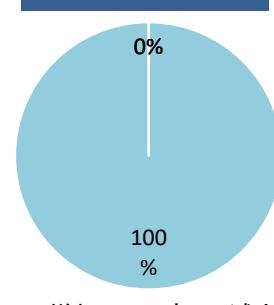


## 【宿泊業】

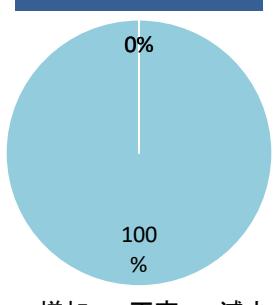
主な今期直面している経営上の問題

仕入価格上昇 (33.3%)、従業員確保難 (33.3%)

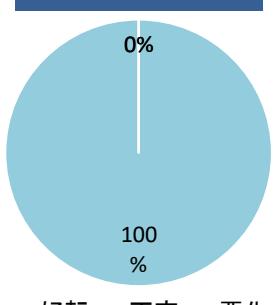
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

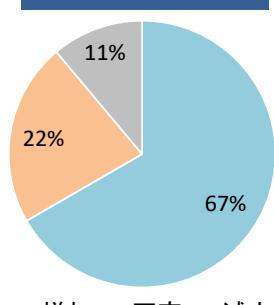


## 【サービス業】

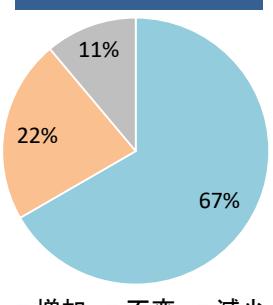
主な今期直面している経営上の問題

従業員確保難 (18.5%)、諸経費増加 (18.5%)、人件費増加 (18.5%) 等

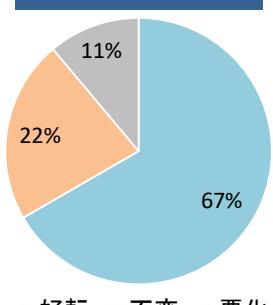
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

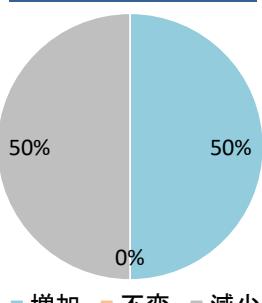


## 【その他】

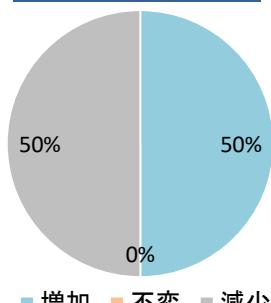
主な今期直面している経営上の問題

駐車場確保難（33.3%）、諸経費増加（33.3%）等

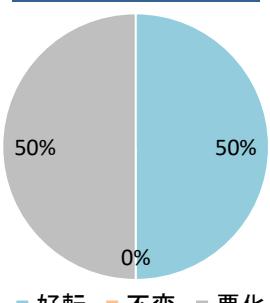
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

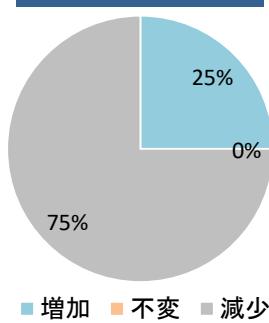


## 【製造業】

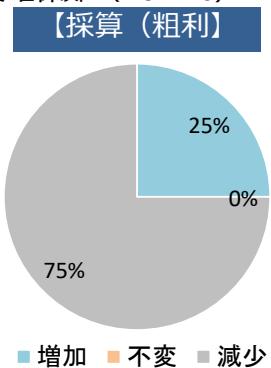
主な今期直面している経営上の問題

後継者問題（33.3%）、原油・原材料高（16.7%）、設備不足・老朽化（16.7%）、技術者不足（16.7%）、従業員確保難（16.7%）

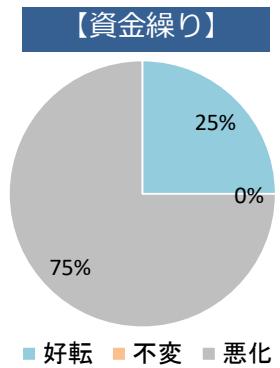
【売上高】



【採算（粗利）】



【資金繰り】

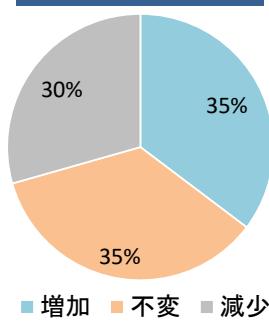


## 【建設業】

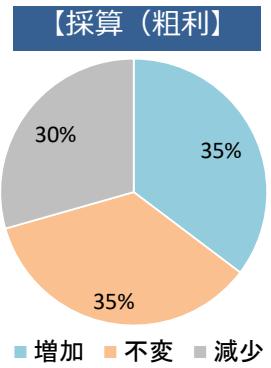
主な今期直面している経営上の問題

売上高の減少・停滞（25.7%）、技術者不足（17.1%）人件費増加（17.1%）等

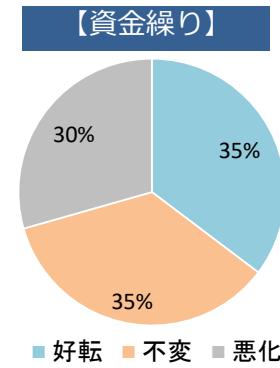
【売上高】



【採算（粗利）】

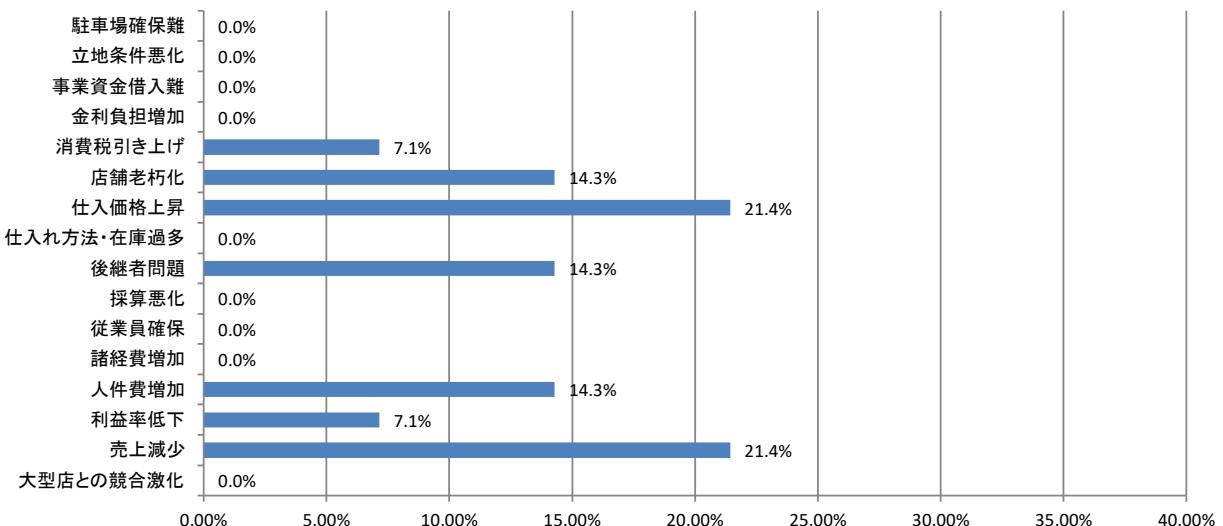


【資金繰り】

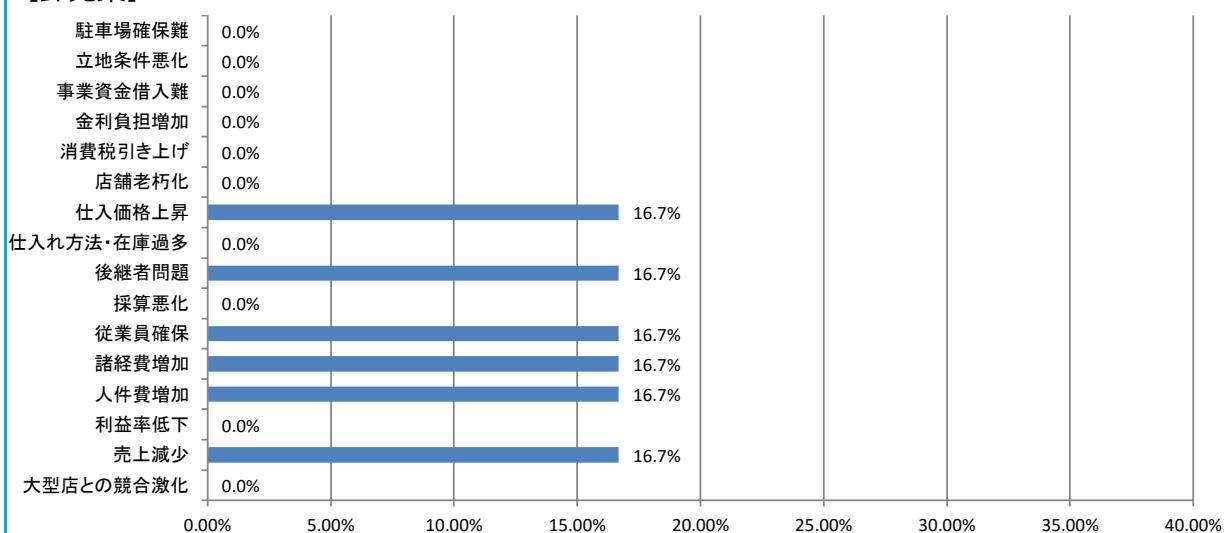


## 2. 経営上の問題点について

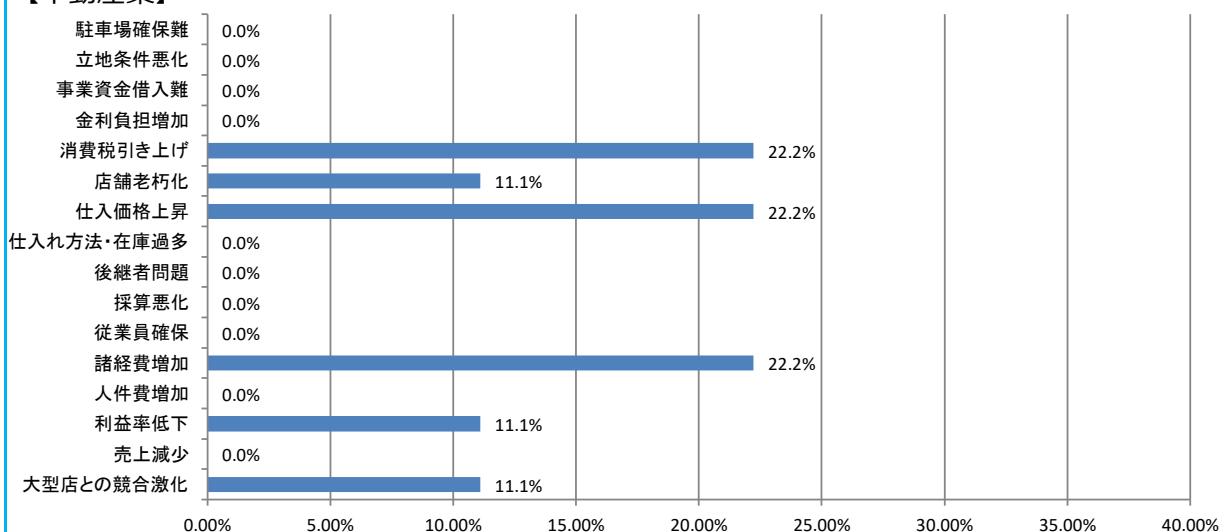
### 【小売業】



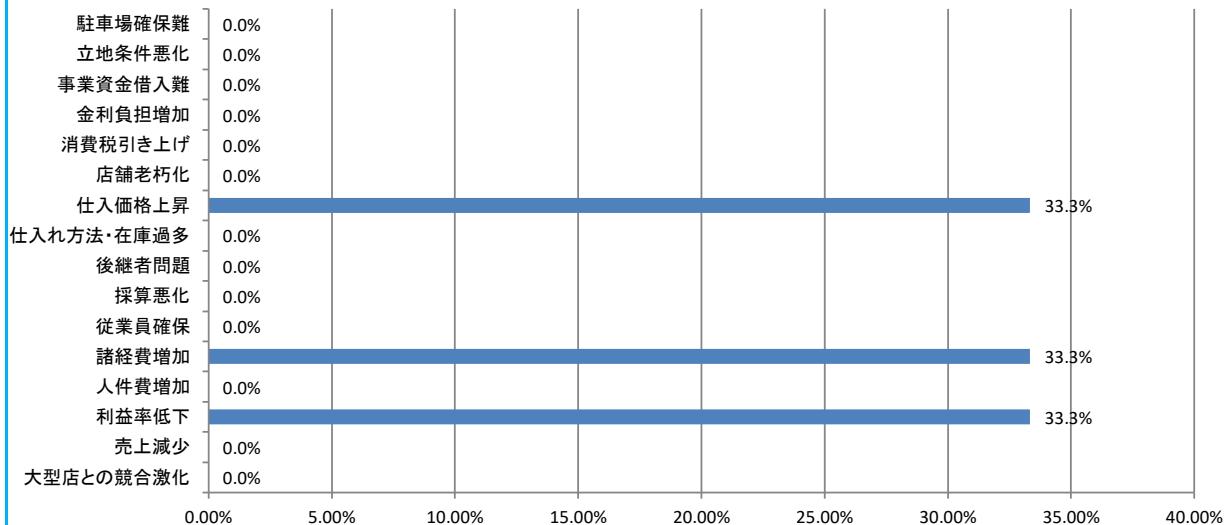
### 【卸売業】



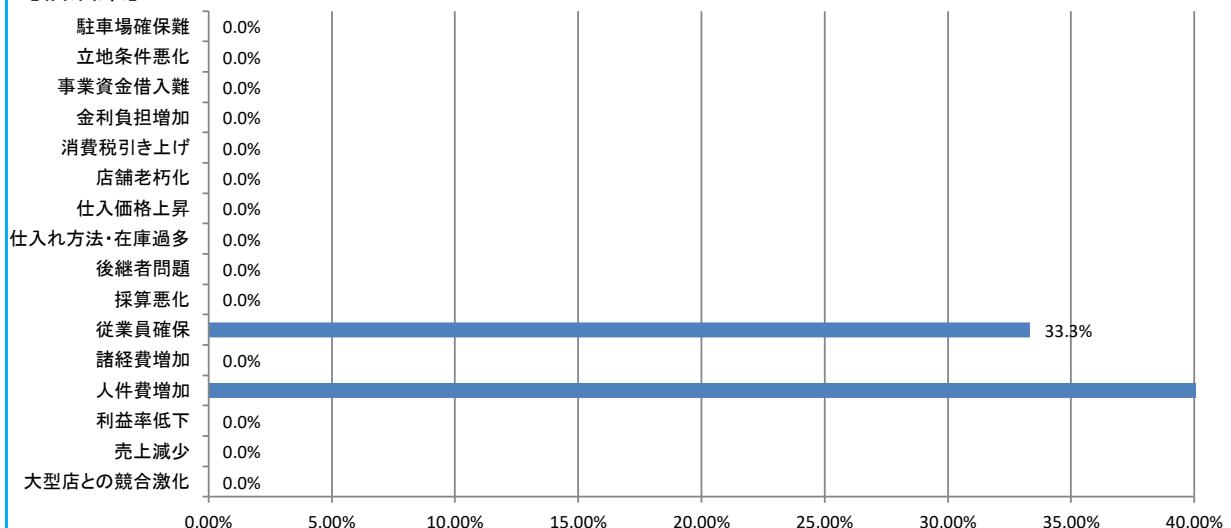
### 【不動産業】



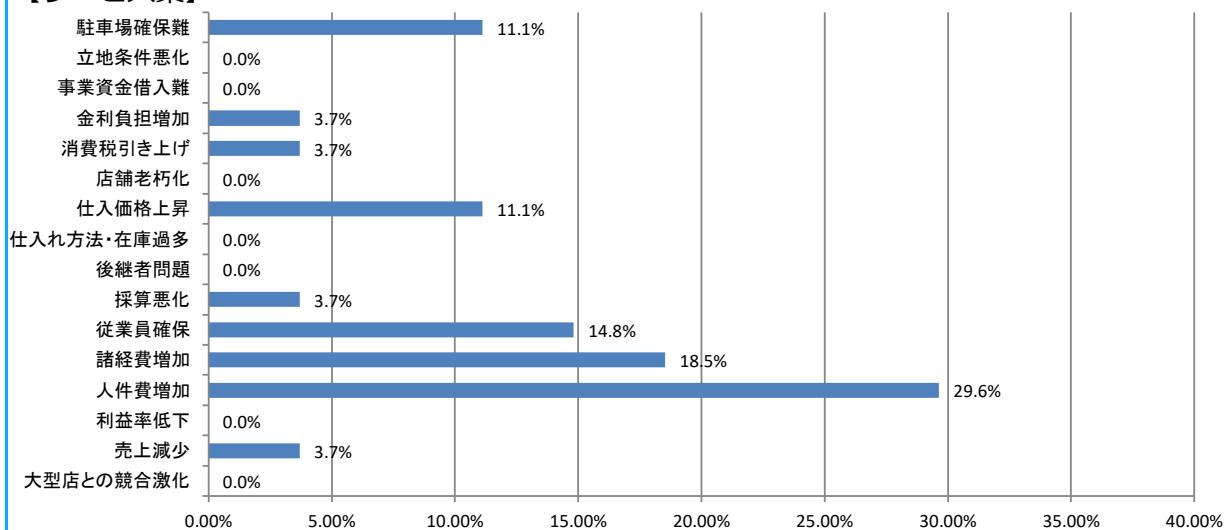
### 【飲食店】



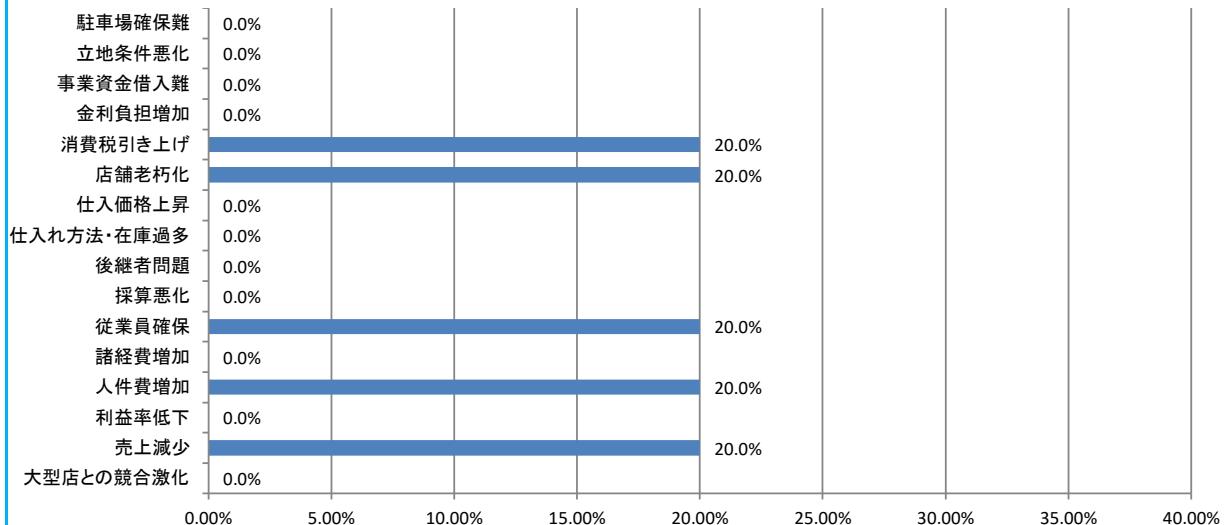
### 【宿泊業】



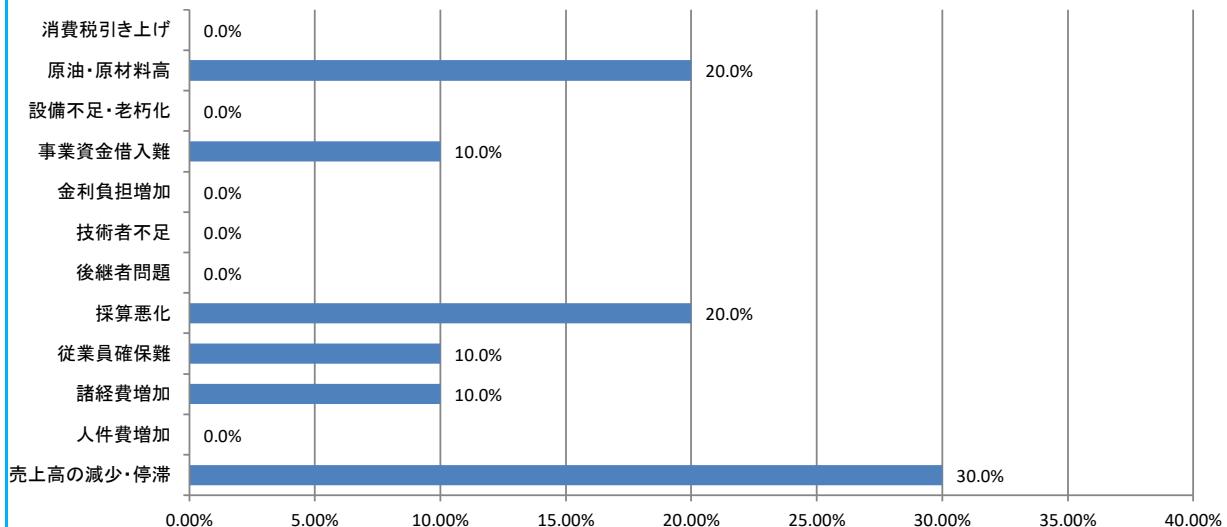
### 【サービス業】



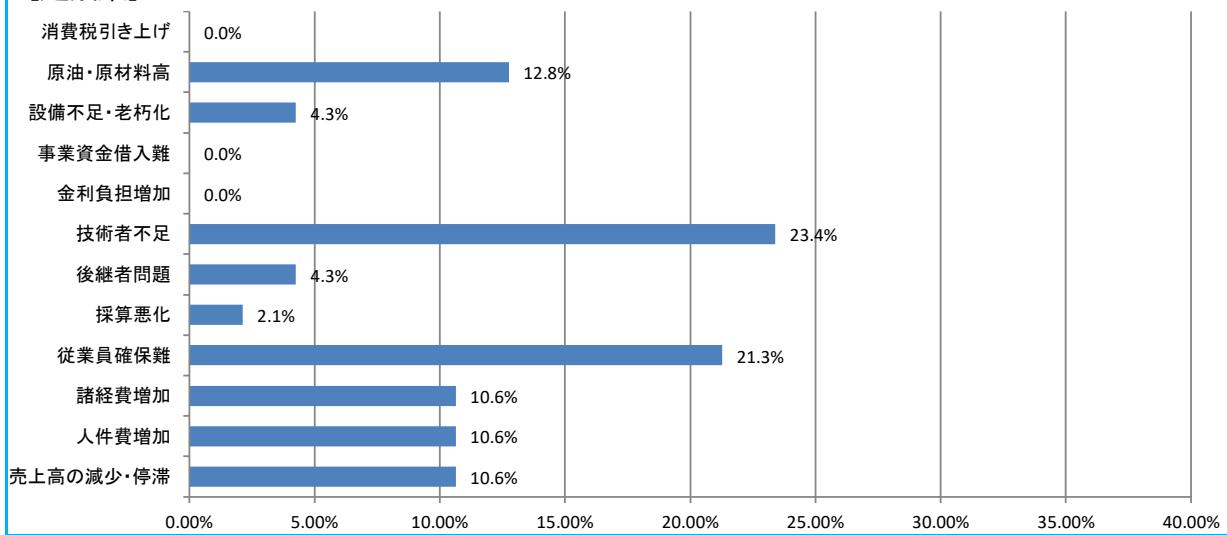
### 【その他】



### 【製造業】

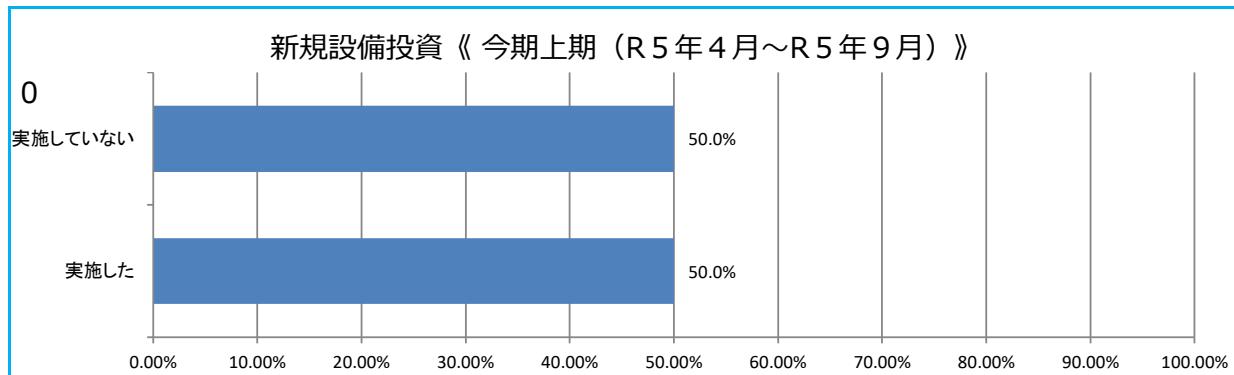


### 【建設業】



### 3. 新規設備投資状況

#### 【製造業】



#### 【建設業】

